

防災だより

福井県立福井南特別支援学校

福井市南居町 82 (0776) 36-7631



第 7 号

平成 28 年 10 月 21 日

「緊急地震速報発令！」そのとき、あなたはど

9月1日（木）始業式の後、地震の時の身の守り方を学びました。緊急地震速報の音が流れて緊張感の漂う中、[シェイクアウト]について学びました。

シェイクアウト



「シェイクアウト」という言葉は聞き慣れないものですが、「地震の揺れから自分の命を守るための行動」のことで、今までの訓練でも行ってきたことなのです。この一言で、とっさの時にすぐに行動できるように、本校でも取り入れました。



教員の見本を見て、ポイントを確認。



寄宿舍でも重点的に指導。

訓練でやってみたよ。シェイクアウト！

9月7日は寄宿舍で、9月8日は学校で、緊急地震速報を使った避難訓練を行いました。小学部の1年生から高等部3年生まで、それぞれが真剣に取り組みました。



＜一斉放送＞「ファンファン、ファンファン。緊急地震速報。およそ30秒後に地震が来ます。」それを聞いて「シェイクアウト」の行動を素早く取る様子です。

地震はいつ起きるか分かりません。近くにある物で頭を守る！避難中も落下物に注意！寄宿舍では座布団、かご、洗面器など使いました。



「日常が大事」コーナー

本当に大切なのは「今」です。

第2回テーマ 「えらぶ」 自分のものは自分で選ぼう！！

第1回はカレンダーやスケジュールを通して、見える形で見通しを伝える大切さを書きました。今回は「えらぶこと」…選択活動について書いてみたいと思います。

非常時には、いつも手に入るものが手に入らないこともあります。そのようなときでも、その中にある飲み物の中から「水とお茶、どちらにする？」と選んでもらいましょう。そうすることで、押しつけられた感覚が減り受け入れやすくなります。

「うちの子はいつもこれしか飲まない。」などとお考えの方もいらっしゃると思います。

一つのものにこだわるというのは逆に言えば一つのものしか知らない、選択活動ができていないということでもあります。普段の暮らしで、まずは二つのものから一つを「えらぶ」ことを取り入れていきましょう。「パンかご飯かどっち？」「どっちの洋服にする？」など、自分のものは自分で選ぶ経験を積み重ねていきましょう。自分で選ぶことで責任やモチベーションが生まれます。そのことによって次の自分の身の振り方を判断できるようになるのです。



家庭でも非常食を食べる日を。

アルファ米、カンパン、クラッカーなど、非常食として売られていますが、手に取られたことはありますか？アルファ米っておいしいの？子どもたちは食べられるかしら？と思ったら、一度購入して食べてみてください。そして1個使ったら1個補充という「サイクル保存」をしていきましょう。学校でも何かの形で子どもたちが非常食を食べる体験を実施していきたいと考えています。



教員も非常食体験。セットされている内容や作り方を確認しました。水を入れて1時間、意外とおいしいご飯ができました。

学校ホームページURLはこちら

http://www.fukuiminami_sh.ed.jp/

学校HPの「危機管理」の中に「安心・安全な学校作り」のページがあります。この「防災だより」とともにぜひ御覧ください。